



# 環境講座(エコ・スクールン/環境出前講座)' 24

## メニュー表

オンライン講座も実施しています。  
お気軽にご相談ください。

川口市地球温暖化防止活動推進センター





# 環境講座のご利用の流れ

講座を選ぶ



※  
申込書を提出

◆2週間前までに提出◆  
FAX またはメールで送付



講師と打合せ



講座の実施



※  
報告書・写真を提出

◆実施後 10 日以内に提出◆  
FAX またはメールで送付  
写真はメールで送付

※「申込書」・「報告書」は最終ページ(HP からもダウンロード可)

お申し込み・お問い合わせ

## 川口市地球温暖化防止活動推進センター

電話: 048-222-0590 FAX: 048-222-0591

メール : center@ecolife-kawaguchi.org

ホームページ上で講座実施例を紹介しています。

## 環境講座について

川口市内の小中高等学校、町会・自治会、保育園・幼稚園、事業者等に、環境講座の講師を派遣しています。本メニュー表よりご希望の講座を選びご利用ください。

エコ・スクールン: 学校向け講師派遣

環境出前講座: その他団体への講師派遣

【運用の上限】

	エコ・スクールン	環境出前講座
対象人数	20 名以上	10 名以上
実施時間	45 分以上	30 分以上
年間利用回数	10 回まで	5 回まで

- ◎講座内容及び時間は、ご希望により変更可能なものもあります。
- ◎対象人数、実施時間が下回る場合や利用回数が上回る場合はご相談ください。
- ◎講師の派遣費用は無料です。



I 地球環境関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中	高	一般								
1				○	○	○	○	これだけは知っておきたい 地球温暖化基本講座	15～45	講義	○	6年理科 私たちの生活と環境 中3理科 地球の明るい未来のために	理科	NPO法人川口市民環境会議	12
2				○	○	○	○	地球温暖化と私たちの生活	45～90	講義 体験	○	6年理科 私たちの生活と環境 中2理科 気象の仕組みと天気の変化 中3理科 地球の明るい未来のために	理科	NPO法人川口市民環境会議	12
3				○	○	○	○	地球環境とSDGs	30～90	講義	○			NPO法人川口市民環境会議	12
4				○	○	○	○	地球温暖化防止について -現状と私たちの取るべき行動-	15～120	講義	○	6年理科 私たちの生活と環境 中2理科 気象の仕組みと天気の変化 中3理科 地球の明るい未来のために	理科	埴原 克夫	12
5	○	○	○					種で遊ぼう！	30～90	講義 体験	○		生活科	NPO法人川口市民環境会議	13
6	○	○	○					紙芝居 「ちきゅうおんだんかのはなし」	15～20	講義	○		生活科	NPO法人川口市民環境会議	13
7				○	○	○		宇宙船に乗ろう	90	講義 体験		6年理科 生物と地球環境/私たちの生活と環境 中2理科 気象の仕組みと天気の変化 中3理科 地球の明るい未来のために	理科	NPO法人川口市民環境会議	13
8	○	○	○	○	○	○	○	エコライフDAY -地球を守るために私たちができること-	15～45	講義	○	4年社会科 住みよいくらし 5.6年家庭科	社会科/家庭科	NPO法人川口市民環境会議	13
9				○	○	○	○	異常気象のリスクに備えよう -気候変動への適応-	30～45	講義	○	5年理科 台風と防災 中2理科 気象の仕組みと天気の変化	理科	NPO法人川口市民環境会議	13
10				○	○	○	○	エネルギー (自然エネルギー・省エネルギー・創エネルギー)	45	講義 体験		6年理科 私たちの生活と電気 中学技術 エネルギー変化に関する技術 中学地理 世界からみた日本の姿 中学公民 地球社会と私たち	理科/技術・家庭科/ 地理/公民	NPO法人川口市民環境会議	14
11							○	省エネ住宅について	40～60	講義	○			埼玉建築士会川口支部	14
12							○	地球と人とお財布にやさしい省エネ住宅	40～60	講義	○			NPO法人川口市民環境会議	14

I 地球環境関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン лайн 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中 学	高 校	一 般 事 業 者								
13							〇〇	企業の省エネについて	30～40	講義	○			樋口 宗治 又は 埴原 克夫	14
14			〇	〇	〇			くらしを支えるエネルギー	1時限	講義 体験		4年社会科 水・ごみ・電気 5年社会科 これからの工業生産とわたしたち 中学社会 エネルギーと環境	社会科/ 技術・家庭科	東京ガス株式会社 次世代教育センター	14
15			〇	〇	〇			燃料電池ってなんだろう？	1時限	講義 体験		5年理科 電流がうみ出す力 5年社会科 これからの工業生産とわたしたち 6年理科 電気と私たちのくらし	社会科/理科	東京ガス株式会社 次世代教育センター	15
16			〇	〇	〇			食生活から学ぶSDGs ～はじめよう！エコ・クッキング※～ ※エコ・クッキングは 東京ガスの登録商標です。	1時限	講義		5年家庭科 おいしい楽しい調理の力 中学家庭科 食生活と栄養	技術・家庭科	東京ガス株式会社 次世代教育センター	15
17	〇	〇		〇	〇			「昔あそび」は「エコ遊び」	45～90	講義			生活科	NPO法人川口市民環境会議	15
18	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	世界の仲間とつながろう 「オランウータンを守ろう」	45～90	講義	○	6年理科 生物と地球環境 中3理科 自然界のつながり	理科	神山 裕則	15
19			〇	〇	〇	〇	〇	生命を育む水を守ろう	40～90	講義 体験	○	4年社会科 くらしと水 中2理科 気象のしくみと天気の変化 中3理科 自然界のつながり 中学家庭科 食生活と自立	理科/社会科/ 技術・家庭科	NPO法人川口市民環境会議	16
20				〇	〇	〇	〇	2030SDGsカードゲーム	90～180	講義 体験				寺島 義智	16
21				〇	〇	〇	〇	SDGs入門授業	45～100	講義 体験				寺島 義智	16
22							〇	SDGs新聞ワークショップ	100～150	講義 体験				寺島 義智	16
23	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	自然を通してSDGsを考える ネイチャーゲームワークショップ	45～180	講義 体験				寺島 義智	17
24							〇	環境管理システム(EMS)認証・登録支援	120(×6回)	講義 視察	○			樋口 宗治	17

I 地球環境関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	一般 事業者								
25			○	○	○			エコラベルを通じて世界の環境問題を学ぼう	45	講義				太田 樹	17
26							○	家庭で出来る地球温暖化対策	60	講義	○			駒崎 茂	17
27		○	○	○			○	地球温暖化対策として家庭で出来る省エネ体験	60	体験				駒崎 茂	18
28				○				「生物と地球環境」 ～私たちが出来ることは？～	45	講義		6年理科 生物と地球環境	理科	NPO法人川口市民環境会議	18

II ごみ・リサイクル関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	一般 事業者								
29			○	○	○	○	○	○	45～90	講義 体験	○	4年社会科 暮らしとごみ 中学家庭科 身近な消費生活と環境	社会科/ 技術・家庭科	NPO法人川口市環境会議 又は 四條 延子	19
30			○	○	○			○	①45 ①+②90 ①+②+③135	講義 体験	○	4年社会科 暮らしとごみ 中学家庭科 身近な消費生活と環境	社会科/ 技術・家庭科	牧野 真知子 又は 神山 裕則	19
31		○	○	○			○		40～90	体験				NPO法人川口市環境会議 又は 四條 延子	19
32	○	○	○	○					40～90	体験		2年生活科 おもちゃをつくろう	生活科	NPO法人川口市環境会議 又は 四條 延子	19
33			○	○					120	体験				女性建築士の会 ほっと・すまいる	19
34	○	○	○	○					90～120	講義 体験				牧野 真知子	20
35	○	○							60～90	体験		1年 昔遊びをしよう	生活科	横山 隆	20
36			○	○	○	○	○		60～90	体験		4年社会科 暮らしとごみ 5・6年家庭科 中学家庭科	社会科/家庭科/ 技術・家庭科	守谷 裕之	20
37				○	○	○	○		90～120	体験				牧野真知子	21
38	○	○	○	○	○	○	○	○	45～90	体験		5・6年家庭科	家庭科	NPO法人川口市環境会議	21
39		○	○	○	○	○	○	○	45～90	講義 体験		5・6年家庭科 中学家庭科	家庭科/ 技術・家庭科	NPO法人川口市環境会議	21

Ⅱ ごみ・リサイクル関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	一般 事業者								
40		○	○	○	○	○	○	美しい海を守ろう -海洋プラスチック問題を考える	30~90	講義	○	5年社会科 水産業のさかんな地域 中3理科 自然界のつながり	社会科/理科	NPO法人川口市環境会議	21
41				○	○			私たちの服はどこから来てどこへ行くのか ~製造編	50~100	講義				西山 悦子	21
42				○	○			私たちの服はどこから来てどこへ行くのか ~着用編	50~100	講義				西山 悦子	22
43				○	○			私たちの服はどこから来てどこへ行くのか ~廃棄編	50~100	講義				西山 悦子	22
44		○	○	○	○	○		ゴミを減らして防災対策	45	講義		4年社会科 くらしとごみ 中学技術・家庭科	社会科/ 技術・家庭科	近江 和子	22
45				○	○	○		食品ロスについて	45	講義		5年社会科 わたしたちの生活と食料生産 5.6年家庭科 中学技術・家庭科	社会科/ 技術・家庭科	NPO法人川口市環境会議	22
46				○	○	○		タヌキ先生の環境問題講座(地球温暖化・プラスチックゴミ問題・生ゴミコンポストの実践を中心に)	45~90	講義	○	中3理科 自然界のつながり	理科	小林 邦夫	22

Ⅲ 自然環境関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	事業者								
47		○	○					身近な自然の生き物しらべ	60～90	体験	○	1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	横山 隆	23
48	○	○						自然の中の宝物さがし (草花あそび&虫とりあそび)	60～90	体験	○	1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう	生活科	横山 隆	23
49	○	○	○	○	○			校庭で昆虫、野鳥や草花を探そう、ふれ合おう	45～90	体験		3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう/季節と生き物 6年理科 私たちの生活と環境/生物と地球環境	理科	林 美恵子	23
50	○	○	○	○		○		学校ビオトープを作ってみよう 校庭やビオトープの自然観察	ビオトープ作り 45×6～10回 自然観察45～90	体験				西尾 三枝子	24
51		○	○			○		土の中の虫たちを見てみよう	90	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	西尾 三枝子	24
52		○	○	○				自然観察	45～90	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	神山 裕則	24
53		○	○	○	○			本当の自然とは何か	45～60	講座		3年理科 自然のかんさつをしよう	理科	西尾 研二	24
54		○	○	○		○	○	芝川第一調節池の役割と 自然の話	90～120	講義 体験		4年社会科 地域の発展に尽くした人々	社会科	西尾 三枝子	25
55			○					見沼の歴史と通船堀の仕組み	45～90	講義 体験	○	4年社会科 地域の発展に尽くした人々	社会科	神山 裕則	25
56	○	○	○	○	○	○	○	・昆虫標本と採集した昆虫の話 ・生き物の比較 ・河川敷や公園、校庭での自然観察	60～120	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	吉野 修弘	25
57		○	○	○	○		○	身近な野鳥観察	45～90	体験		1年生活科 いきものとなかよくしよう 3年理科 動物のすみかをしらべよう	理科/生活科	西尾 研二	25

Ⅲ 自然環境関係

No.	対象								講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	一般	事業者								
58		○							もの作り	45～90	体験		1年生活科 秋と遊ぼう	生活科	神山 裕則	26
59		○	○	○					ドングリ笛作り ジュズ玉のネックレス作り	60～	体験		1年生活科 秋と遊ぼう	生活科	西尾 三枝子	26
60	○	○	○	○	○		○	○	・自然素材を使つての物作り ・木育 ・自然の大切さ	60～120	体験		1年生活科 春を探そう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう	理科/生活科	吉野 修弘	26
61		○	○	○					自然の素材を使って、生き物を作ってみよう	45～60	体験		1年生活科 春を探そう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう	理科/生活科	西尾 研二	26
62			○	○				○	ヨモギのホットケーキ	90	体験			家庭科	西尾 三枝子	26
63	○	○	○	○				○	見沼たんぼの自然を知ろう ※自然観察	45～90	講義		5年社会科 わたしたちの生活と食料生産 5.6年家庭科 中学技術・家庭科	家庭科	グラウンドワーク川口	27
64								○	見沼たんぼの自然を知ろう ※自然保護	45～90	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	グラウンドワーク川口	27
65		○	○	○				○	見沼たんぼの自然を知ろう ※自然素材を使つてのものづくり	45～90	講義 体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	グラウンドワーク川口	27
66		○	○	○					水の授業	45～90	講義 体験	○	4年社会科 くらしと水	社会科	神山 裕則	27
67	○	○	○	○	○	○	○		水質検査から水の汚れや水の浄化について学ぼう	45～90	講義 体験		4年社会科 くらしと水	社会科	林 美恵子	27
68		○	○	○	○	○	○		綾瀬川の浄化と自然	30～90	講義 体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	綾瀬川を愛する会	28
69		○	○	○	○	○	○		綾瀬の森の生物と生命	30～90	講義 体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんざつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	綾瀬川を愛する会	28

Ⅲ 自然環境関係

No.	対象							講座名	時間 (分)	授業 形式	オン ライン 対応	参考単元	適応教科	講師	頁
	幼	小低	小中	小高	中学	高校	事業者								
70		○	○	○	○	○	○	綾瀬川、綾瀬の森の生き物	30～90	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	綾瀬川を愛する会	28
71	○	○	○	○	○	○	○	地球環境を壊さない野外活動の技術を活用しよう	企画により調整	講義 体験		臨海・林間 郊外活動		中村 満	28
72		○	○					身近な自然と友だちになろう	60～90	体験		1年生活科 春を探そう/いきものとなかよくしよう 2年生活科 秋を探そう 3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	岩川 與蒔野	28
73				○	○	○	○	猫も杓子もワンヘルス	45	講義	○	6年理科 生物と環境との関わり	理科	近江 和子	29
74				○	○	○	○	猫と環境問題	45	講義	○	1年生活科 いきものとなかよくしよう 6年理科 生物と環境との関わり	生活科/理科	近江 和子	29
75				○	○	○	○	「たまご」から環境を考える	30	講義	○	5・6年家庭科 中学家庭科 続可能な社会をつくる 中学技術 わたしたちの生活と生物育成	技術/家庭科	近江 和子	29
76	○	○	○	○				図鑑ではわからないこと	30～60	講義 体験	○	3年理科 自然のかんさつをしよう/動物のすみかをしらべよう/季節と生き物 4年理科 季節と生き物	理科/生活科	河原 元	29
77				○	○	○	○	上谷沼周辺の野鳥観察	45～90	講義 体験		3年理科 動物のすみかをしらべよう	理科	藍沢 司	30
78				○	○	○	○	タヌキ先生のタヌキ講座	45～90	講義	○	6年理科 生物と環境との関わり	理科	小林 邦夫	30
79	○	○	○	○	○	○	○	本当の自然とは何だろう？	45～90	講義 体験		3年理科 自然のかんさつをしよう	理科	貴家 章子	30
80				○	○	○	○	「鰻のかば焼き」発祥の地、 上谷沼調節池の役割と自然の見方	90～120	講義		4年理科 雨水のゆくえ 4年社会科 水害にそなえる	理科/社会科	貴家 章子	30
81				○	○	○	○	ワークショップ「みんなのトンボ池」	90	講義 体験			社会科	貴家 章子	31
82				○	○	○	○	今日からできる！自然保護へのとりくみ	45～60	講義			理科/社会科	貴家 章子	31

No.	名前	所属	分野					
			地球環境	環境保全*	資源/エネルギー	廃棄物/3R	自然環境/生物多様性	
1	藍沢 司	上谷沼周辺の自然を守る会副代表						○
2	岩川 與蒔野	戸塚南小あすばるエコクラブサポーター						○
3	太田 樹	サステナビリティコンサルティング会社勤務	○	○			○	○
4	近江 和子	埼玉県地球温暖化防止活動推進員、川口市動物愛護推進員、人とペットの防災クラブ代表	○					○
5	河原 元	埼玉昆虫談話会会員、川口いきもの調査員、川口市環境審議会委員						○
6	神山 裕則	埼玉県環境アドバイザー、元小学校教諭、自然っ子クラブ代表、埼玉県地球温暖化防止活動推進員		○			○	○
7	小林 邦夫	高校教諭、ダンちゃん倶楽部副代表	○	○	○		○	○
8	駒崎 茂	NPO法人太陽光発電所ネットワーク理事	○		○			
9	貴家 章子	上谷沼周辺の自然を守る会代表						○
10	四條 延子	元小学校教諭、元放課後児童クラブ指導員、埼玉県地球温暖化防止活動推進員	○				○	
11	寺島 義智	未来創造サポート代表	○				○	
12	中村 満	野外活動指導者1級、日本レクリエーション協会インストラクター、元小中学校教諭		○				○
13	西尾 研二	埼玉県生態系保護協会川口支部長						○
14	西尾 三枝子	かわぐちッ子荒川クラブ代表、日本自然保護協会指導員						○
15	西山 悦子	学生服リユースショップ 店主					○	
16	埴原 克夫	事業所にてISO14001業務に従事、エネルギー管理士、埼玉県地球温暖化防止活動推進員	○		○			
17	林 美恵子	荒川夢クラブ代表、NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム副代表理事		○				○
18	樋口 宗治	環境省環境カウンセラー、埼玉県省エネナビゲーター			○			
19	牧野 真知子	埼玉県環境アドバイザー、埼玉県地球温暖化防止活動推進員	○				○	
20	守谷 裕之	ダンちゃん倶楽部代表、木工職人、元中学校教諭	○				○	

No.	名前	所属	分野				
			地球環境	環境保全*	資源/エネルギー	廃棄物/3R	自然環境/生物多様性
21	横山 隆	環境省環境カウンセラー、埼玉県環境アドバイザー、自然探検コロボックルくらぶ代表		○			○
22	吉野 修弘	自然体験活動指導者NEALリーダー、埼玉県環境アドバイザー、川の指導者インストラクター					○
23	綾瀬川を愛する会			○			○
24	NPO法人川口市民環境会議	川口市地球温暖化防止活動推進センター指定団体、エコライフDAY共催	○		○	○	
25	グラウンドワーク川口	「みぬま自然学校」運営					○
26	埼玉建築士会川口支部		○		○		
27	女性建築士の会 ほっと・すまいる				○	○	
28	東京ガス株式会社 次世代教育センター		○		○		

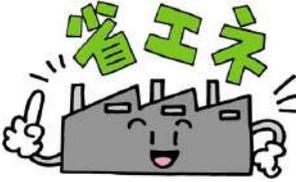
# I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
1	これだけは知っておきたい 地球温暖化基本講座	<p>地球温暖化問題はすでに待ったなしの状況にきています。この講座では、地球温暖化が引き起こす様々な問題を映像やイラストを使い、分かりやすくお話しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化の原因って何？</li> <li>・温暖化が引き起こす環境問題</li> <li>・人間や生き物にどんな影響を与えるか？</li> <li>・これからどんな対策が必要か？</li> </ul> <p>この解決に向けて私たちは何をすればよいのかを考えます。</p>	
2	地球温暖化と私たちの生活	<p>地球温暖化の原因と影響、対策についてお話しします。ご要望に応じて、「食」「省エネ」「ごみ」などテーマを絞ったお話、ワークショップなどの実施も可能です。講座を通して、身近な生活から地球温暖化を防ぐ方法を考えます。</p>	
3	地球環境とSDGs	<p>持続可能な社会をつくるためSDGsが国連で採択され、17の開発目標が挙げられています。特に大きな目標として、脱炭素社会があります。その中から地球温暖化とかかわりの深い項目について学びます。</p> <p>「目標7 エネルギー」、「目標12 つくる責任 使う責任」、「目標13 気候変動」、「目標14 海の豊かさを守ろう」、「目標15 陸の豊かさを守ろう」など、これらの課題と生活とのかかわりを学び、生活を見直す中で一人一人が取り組めることを考えていきます。</p>	
4	地球温暖化防止について -現状と私たちの取るべき行動-	<p>地球温暖化防止が強く叫ばれているなか、国内は省エネ法や温対法により一般企業には、強力な圧力が加っている。一方、家庭部門への要請は、ひどく弱く感じられます。一般市民のみなさんへ地球温暖化防止の重要性や、その対策について理解を得るため、以下の項目を分かり易く解説します。【講座内容】1.基礎的な事項 2.地球温暖化とは 3.地球温暖化の悪影響 4.地球温暖化防止活動 5.法令 適応策(防災)</p>	

# I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
5	種で遊ぼう！	<p>種遊びを通して、楽しく、地球環境を守ることを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・種を飛ばして遊ぶ</li> <li>・自分たちで作ったおもちゃで遊ぶ</li> </ul> <p>身近なものを工夫して遊ぶことが、実は地球にも白くまのためにもなることをまとめとし、ふりかえります。</p>	 <p>・放課後児童クラブなどで手軽な遊びと合わせた学習やイベントの中でも利用できます。</p>
6	紙芝居 「ちきゅうおんだんかのはなし」	<p>北極に住んでいる「しろくまくん」の心配は、氷が減ってきていることです。紙芝居～ちきゅうおんだんかのはなし～を中心に、「しろくまくん」と一緒に、地球温暖化について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、地球では</li> <li>・地球が温かくなった訳</li> <li>・CO2を減らすには どうすればいいの？</li> </ul>	 <p>※この紙芝居は、株式会社コマームと協働で制作しました。</p>
7	宇宙船に乗ろう	<p>宇宙船に乗って30年間宇宙を旅するとしたら何を持っていくか、グループ毎に考えます。話し合いを通して、宇宙船は地球そのものであることに気づき、水や大気、植物など人間が生きていくために必要なものはすべて「循環」で支えられていることを知ります。そして、地球を守るために私たちができることを考えます。</p>	
8	エコライフDAY -地球を守るために 私たちができること-	<p>川口市では、毎年6月の第2日曜日を「エコライフDAY」とし、環境のことを考えた生活の実践により削減できたCO2量を数値化し、地球温暖化防止にチャレンジしています。講座では、地球温暖化やエコライフDAYについて説明し、私たちが日々の生活の中で地球のためにできることを考えていきます。</p>	 <p>朝の時間や全体集会、校内放送など短い時間でも利用できます。</p>
9	異常気象のリスクに備えよう -気候変動への適応-	<p>近年、異例の猛暑や豪雨の増加をはじめとする様々な気候変動の影響が各地で現れています。この講座では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動が引き起こす様々な問題解説</li> <li>・埼玉県の気候変動の影響と現状と予測</li> <li>・地域の安全のために必要な「適応」への取り組みについて分かりやすく解説します。</li> </ul>	

## I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
10	エネルギー (自然エネルギー・省エネ・創エネルギー)	私たちの暮らしに必要な電気をつくる時、多量のCO2が排出されず。脱炭素社会を目指すためには、自然エネルギー(太陽光発電、水力発電、風力発電、太陽熱温水器等)の利用を促進することがCO2削減に効果的です。そこで、自然エネルギーや、電気を有効利用するための省エネ方法、エコライフの実践について学びます。また、生活の中で自然エネルギーを取り入れる方法についても考えます。	
11	省エネ住宅について	所属する建築士が、省エネ住宅についてお話しします。 ・省エネ住宅とは ・省エネ住宅の住み心地は？ ・自然エネルギーの利用についてなど	
12	地球と人とお財布にやさしい省エネ住宅	省エネ住宅は地球環境に優しいだけでなく、家の中の温度差をなくすことによる健康上のメリット、ランニングコストも抑えられる(お財布にやさしい)ことを理解していただきます。 ・夏涼しく冬暖かい、省エネ住宅の新築やリフォームの基本を解説 ・お金をかけず工夫して暖房や冷房効果を高める工夫の紹介 ・補助金、融資制度、優遇税制等についての解説	
13	企業の省エネについて	・地球温暖化の現状 ・省エネの重要性 ・省エネのポイント(照明、空調、生産機械、コールド機器、ボイラー、自動販売機、パソコン・コピー機、自動車など) ・企業における省エネ活動の進め方	
14	暮らしを支えるエネルギー	私たちはたくさんのエネルギーに支えられて生活をしています。大切なライフラインである都市ガスがどんな場所で使われているのかこれからどうなっていくのか、「防災面」「環境面」、その歴史なども分かりやすくお伝えします。	 <p>①都市ガスが届くまで ②安心安全ガスの防災 ③ガスの歴史と暮らしの変化 詳しくはこちらもご参照ください。 <a href="https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/">https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/</a></p>

## I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
15	燃料電池ってなんだろう？	<p>燃料電池は水素と酸素から電気と熱をつくる、環境にやさしいエネルギーの利用方法です。 実験を通じて、エネルギーの有効利用のために、自分たちにできることは何かを考えます。</p>	 <p>詳しくはこちらもご参照ください。 <a href="https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/">https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/</a></p>
16	食生活から学ぶSDGs ～はじめよう！ エコ・クッキング※～ ※エコ・クッキングは東京ガスの登録商標です。	<p>SDGsへの関心を深め、地球環境のために私たち1人ひとりができることを考えます。自分たちの身近な「食生活」をテーマにだれもがすぐに行える環境に配慮した行動や工夫のポイントを学びます。</p>	 <p>詳しくはこちらもご参照ください。 <a href="https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/">https://www.tokyo-gas.co.jp/network/kids/</a></p>
17	「昔遊び」は「エコ遊び」	<p>五感を使ったり、友達とのコミュニケーションもはかれ、発想力も養われる昔あそびを体験し、電気や電池を使うゲームやおもちゃに慣れている子どもたちに、「昔あそび」は「エコあそび」を学んでもらいます。こま・めんこ・おはじき・あやとり・お手玉等、達人(講師)から技を教してもらいながら体験する授業</p>	 <p>体育館などの広い場所が良いです。</p>
18	世界の仲間とつながろう 「オランウータンを守ろう」	<p>ボルネオの素晴らしい自然の解説。ボルネオは1980年頃よりジャングルの木を切り先進国に、輸出され、そこをパームヤシの畑に代えています。パームヤシは、子ども達の好きなポテトチップスやチョコレートに入っています。パームヤシとボルネオの森林破壊、オランウータンなどの動物の絶滅につながっていることを学びます。 絶滅する動物を守るためには、どうすれば良いのかを考え、できることに取り組むことを提起します。</p>	  <p>同学年の数クラスを、一緒に体育館で実施することも可能です。</p>

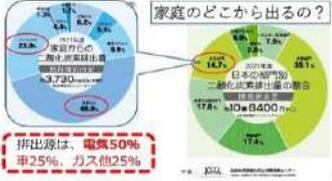
## I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
19	生命を育む水を守ろう	<p>地球に存在する「水」の起源と生物に不可欠な要素・特質などについて説明し、「水」の大切さを学習します。</p> <p>①水の大循環 地球環境への影響力            ②生物多様性の危機 かけがえのない「水」を守る            ③バーチャルウォーターと食品ロス            ④世界の「水事情」安全な「水資源」を得られる国はどれぐらい？            ⑤干ばつと集中豪雨            ⑥汚れた水の「浄化」を体験</p> 	
20	2030SDGsカードゲーム	<p>2030SDGsカードゲームは、17の目標を我々の世界が達成していく、2030年までの道のりを体験するゲームです。さまざまな価値観や違う目標を持つ組織や人々がいる世界で、私たちはどうやってSDGsのビジョンを実現していくのでしょうか。</p> <p>ゲームプレイや、その後の振り返りや対話を通じて「持続可能な開発とは何か」を知ることができるのはもちろん、楽しみながら今後のご自身の在り方や、行動の気づきが得られます。</p> 	<p>1ゲーム60名様まで可能です。大人数での実施の場合複数回実施となります。</p> <p>プロジェクター、黒板やホワイトボードが必要です。</p>
21	SDGs入門授業	<p>SDGsをわかりやすく丁寧にお伝えいたします。講義だけでなくクイズやSDGsゴールのアイコンカードなどを使って対話もしていきます。</p> <p>(2030SDGsカードゲームはこちらの内容を一部含みます。時間があまり取れない場合や大人数の場合はこちらをお勧めいたします)</p>	<p>プロジェクターが必要になります。対面の場合200名様まで同時にご受講いただけます。</p>
22	SDGs新聞ワークショップ	<p>学校様向けのワークショップになります。新聞を使ったアクティブラーニング授業です。</p> <p>記事とSDGsとの繋がりを考えたり、アクション(行動)を考えていきます。</p>	<p>・プロジェクターが必要になります。対面の場合120名様まで同時にご受講いただけます。</p>

## I 地球環境関係

講座No	講座名	講座概要	備考
23	自然を通してSDGsを考える ネイチャーゲームワークショップ	「ネイチャーゲーム」は大人から子どもまで楽しみながら自然に触れられ、繋がっている世界を体感できる体験型のワークショップです。最近では環境教育やSDGs授業などでも取り入れられています。まずは「自然に興味を持つこと」から始まり、「自然と触れあって自分は自然の一部であること意識」します。自然と触れ合っただけを「他人と共有」して、自分の行動を変化させ「心身ともに豊かな生活」を送ることを目指します。	校庭や公園でも実施可能ですがグリーンセンターやイイナパーク川口などでの実施もお勧めいたします。40名様まで可。小雨実施可能。
24	環境管理システム(EMS) 認証・登録支援	中小事業者が環境管理システムの認証・登録をするために、EMSの概要説明、文書作成、従業員教育などを通して支援します。	面談・説明(オンライン可)、文書添削、現場視察などを行います。
25	エコラベルを通じて 世界の環境問題を学ぼう	世界中のごみ問題の現状・深刻さを、写真とゲームで学びます。 【詳細】 ・商品のサプライチェーン(例:畑で収穫～廃棄されるまで)の各過程で発生するごみを考え、消費者としてできる行動について学ぶ ・環境負荷の低い商品についている「エコラベル」の種類・意味について「神経衰弱ゲーム」「エコラベルと商品のマッチングゲーム」を通じて学ぶ ・各エコラベルが持つ意味や商品との関係性について、商品・写真・グラフを見ながら考える	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームは最大6-7名/グループ×5チーム対応</li> <li>・プロジェクター(又は資料が投影できるもの)要</li> </ul>
26	家庭で出来る地球温暖化対策	以下の各論で、地球温暖化、気候危機を学び、その対策として家庭で出来ることを学びます。 ・地球温暖化、気候危機の最新情報と地球温暖化メカニズム、二酸化炭素の発生源について ・地球温暖化と再生可能エネルギー ・最近の電気代高騰 ・太陽光発電について(住宅用太陽光埼玉あんしんモデルの紹介) ・太陽熱温水器について ・再エネ割合の多い電気会社の選び方について	

# I 地球環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
27	地球温暖化対策として 家庭で出来る省エネ体験	<p>家庭でできる省エネを体験します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気機器の消費電力量をワットアワーメータで測定して、省エネを体験します。</li> <li>窓周辺の表面温度を表面温度計で測定することによって暖気の流れを温度としてとらえて、カーテンや内窓の有効性を体験します。</li> </ul>	
28	「生物と地球環境」 ～私たちが出来ることは？～	<p>【お話】 私たちの生活と、水・空気・生物との関わりについて学びます。 (生態系ピラミッド、地球温暖化、自然破壊、プラスチックごみなど)</p> <p>【ワークショップ】 「自分たちの住む場所、こんな場所になったらいいな」 「環境問題を解決するため、自分に何が出来るかな」</p>	

## II ごみ・リサイクル関係

講座No	講座名	講座概要	備考	
29	ごみの分別・リサイクル	<p>川口市のごみ処理とリサイクルのゆくえを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般ごみは、集められた後どのように処理されているのか</li> <li>・回収された資源はリサイクルされ何に生まれ変わるのか</li> <li>・ごみの減量と地球温暖化防止</li> </ul> <p>講座を通して、ごみを減らすことの大切さを考えます。 ご希望により、「朝日環境センター・リサイクルプラザの動画」の視聴、「ごみの分別体験」も可能です。</p>		放課後児童クラブやイベントでも利用できます。
30	ごみ問題連続講座 ①ごみ問題 ②牛乳パックで紙すきハガキ作り ③賢い消費者に	<ul style="list-style-type: none"> <li>①川口市のごみの実態を知ろう(1時間)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の自宅から11種のゴミを集め、実際に11分別を体験する</li> </ul> </li> <li>②全体で、リサイクルの実態の授業(1時間)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パックから、リサイクルはがき作り(1時間)</li> </ul> </li> <li>③ごみを出さない買い物の仕方を学ぼう(1時間)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ゲームをする(1時間)</li> </ul> </li> </ul>		
31	ペットボトルボーリング -遊んでリサイクル	<p>パネルや映像から、「いま地球がたいへんだ」ということを知ります。遊んだ後のペットボトルの資源物としての出し方を体験します。また、ペットボトルのリサイクルについて学習します。</p>		放課後児童クラブやイベントでも利用できます。
32	エコ工作 -楽しく遊んでリサイクル	<p>もったいない精神にもとづき、身の周りにある不用品(牛乳パック、チラシ、空き箱など)でおもちゃを作って楽しく遊びましょう。</p>		・放課後児童クラブやイベントでも利用できます。
33	段ボールで 「夢の家」を作ろう	<p>建築端材や生活不要品等を使い、ダンボールで「夢の家」を作ります。 子ども達は素晴らしい発想力で個性ある自分だけの家を作ります。</p>		段ボールを持参していただきます。大きさは、1ℓのペットボトル6本入りの箱くらいです。

## II ごみ・リサイクル関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
34	紙すきハガキ作り -牛乳パックを原料にして	<p>牛乳パックには、バージンパルプと呼ばれる良質な紙が使われています。そのため、トイレトペーパーやティッシュペーパーなどにリサイクルされています。講座では、牛乳パックのリサイクルについてお話をした後、紙すきをして、牛乳パックからハガキを作る体験をします。</p> 	イベントでも利用できます。
35	昔の遊びを体験しよう	<p>内容は技術を覚える事よりも、みんなで楽しむことが主眼。</p> <p>①導入：草花あそび、昔遊びの紹介。 ②体験：子供たちが昔遊びの各コーナーを自由に回り体験します。保護者の方や、子供の名人がコーナーを担当しても良い。 ③発表：クラス代表の発表。コマ名人戦など。クラスの仲間が応援。 ④まとめ：昔遊びの道具は自然素材で地球を守る活動。 昔遊びの道具は学校にあるものを使用。事前に遊び・練習すると良い。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館</li> <li>・学年での一斉授業</li> <li>・コマに絞って体験することもできます。</li> </ul>
36	生ゴミから堆肥づくり	<p>家庭から出る生ゴミの量は我が家で1ヶ月重さを量ったら燃えるゴミ6.5kg、廃プラ2kg、生ゴミ13kgという結果でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6割は生ゴミそれを分別すれば6割ゴミが減る</li> <li>・生ゴミは約90%が水分である</li> <li>・燃えにくく燃やせばCO2と灰になる</li> <li>・分別して微生物の力を借りれば堆肥になり、土に戻し野菜の育てる良質な有機肥料となる</li> <li>・土の中の微生物を元気にし炭素を土に固定化できるので地球温暖化対策にもなる</li> </ul> 	毎日、生ゴミを分別する所から始めます。親子で分担してやると楽しく出来ると思います。発酵することで熱と水分が出ます。

## II ごみ・リサイクル関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
37	廃傘のリサイクル -マイバッグづくり	使わなくなった傘からエコバッグを作り、ごみの減量や地球温暖化について考えます。	 <p>傘の布地を各自ご用意ください。 ミシンを使用します。</p>
38	エコクッキング	環境にやさしい食事作りについてのお話、実習をします。エコクッキングは、災害時にも役立ちます。	
39	グリーンコンシューマー(賢い消費者)になろう	ごみ減量は、買い物から始まります。環境にやさしい品物とそうでない品物を用意し、環境の視点での買い物体験を通して、賢い消費者について考えます。	
40	美しい海を守ろう -海洋プラスチック問題を考える	日本は一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。海へ流れ出したプラスチック類は「ごみベルト」になって北太平洋を漂い、ハワイ諸島などの海辺にあふれています。また、海洋の生き物(海鳥、ウミガメ、クジラなど)の命を奪っています。本講座では、どうすれば使い捨てプラスチック類を使わない生活ができるのかを考えます。	
41	私たちの服はどこからきて どこへ行くのか ~製造編	衣類は私たちの手に届くまでに「どのように作られている」のでしょうか？そこにある「汚染」「ごみ問題」に目を向けていきたいと思います。	

## Ⅱ ごみ・リサイクル関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
42	私たちの服はどこからきてどこへ行くのか ～着用編	毎日着ている衣類。その衣類は着ているだけで色々な問題を生じさせます。「着用する」「手入れする」で起こっている環境負荷について考えてみたいと思います。	
43	私たちの服はどこからきてどこへ行くのか ～廃棄編	着なくなった衣類はどうしていますか？もちろん市の決めた「資源物繊維類」の日に出していますよね？ではその先はどうなっているのでしょうか？ちょっと考えてみませんか？	
44	ゴミを減らして防災対策	ゴミの減量が環境や防災につながっていることを学びます。一人一人が日ごろからできる対策について考えます。	
45	食品ロスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスの現状</li> <li>・世界の飢餓、日本の食料自給率、地球温暖化と食品ロス</li> <li>・食品ロスを減らすために私たちができること</li> </ul>	
46	タヌキ先生の環境問題講座(地球温暖化・プラスチックゴミ問題・生ゴミコンポストの実践を中心に)	導入でタヌキの話題(タヌキ講座参照)を入れて、その後、地球温暖化やプラスチックゴミ、生ゴミ問題など環境問題の課題を映像や図を使い分かりやすく解説していきます。また、子どもたちが未来の主人公となるように自分たちの課題として考え、発言し、実行することの大切さを考えます。	

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
47	身近な自然の生き物しらべ	<p>自然探検隊として、校庭や学校周辺の公園・自然地で、植物・昆虫などの生き物しらべをする体験学習。地域調べや理科の学習との関連づけも可能。</p> <p>①導入：草花あそび、虫捕り網の使い方などの紹介。            ②体験：植物・昆虫など、興味のあるものを自然の中から探し出し、採集、その名前、特徴などを質問し記録します。            ③まとめ：見つけた生き物の発表、活動の全体化(各クラスで1~2名)。自然のつながりの説明</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭及び公園の自然地を利用</li> <li>・学年での一斉授業</li> <li>・プールのヤゴ調査も可能</li> </ul>
48	自然の中の宝物さがし (草花あそび&虫とりあそび)	<p>季節の宝物さがしをテーマとして、校庭や学校周辺の自然地に出発、子供たちがいろいろな自然の宝物を探し、自然とふれあいます。</p> <p>①導入：自然絵本やお話し、草花あそびを紹介            ②体験：活動範囲を決めて、自由に活動。野の花・木の実や葉っぱ・小さな虫が宝物。一緒に活動しながら草花あそびの紹介、虫の触り方などを伝えます。            ③まとめ：集合して、見つけた宝物の発表。個別の体験を全体化し深めます。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭及び公園の自然地を利用</li> <li>・学年での一斉授業</li> <li>・室内で行う時は、遊びの紹介(45分)</li> </ul>
49	校庭で昆虫、野鳥や草花を探そう、ふれ合おう	<p>日頃、親しんでいる校庭の樹木、植え込み、草むら、学校農園には多くの昆虫、野鳥や植物などが見られます。身近な場所である校庭で、春ならテントウムシ、モンシロチョウに、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリも、タンポポ、ホトケノザと楽しみながら見つけていきます。            また、自然が破壊され、変化していることにも気づき、自分たちでできることをみんなで考えます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭でのフィールドワークと室内での座学をリンクして行います。</li> <li>・校庭・学校農園だけではなく、学校に近い河川敷、公園などもフィールドワークの場として利用できます。</li> <li>・自然素材のもの作り、ネイチャーゲームもとり入れられます。</li> </ul>

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
50	学校ビオトープを作ってみよう 校庭やビオトープの自然観察	<p>◆ビオトープ作り 生態系、食物連鎖、生物多様性の話</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.学校や近所にどんな生きものがいるかを調べる</li> <li>2.それらの生きものの食べ物は何かを調べる</li> <li>3.食べ物となる植物を植える</li> <li>4.学校でできる落ち葉をためる場所(虫元氣)を作り、土にする(落ち葉はゴミではない)</li> </ol> <p>◆自然観察 困った草を抜くなど、ビオトープの管理(お世話)の話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の物を使った遊び、生活との関わり</li> <li>・ハチやドクガなどとの付き合い方</li> </ul>	 <p>池のあるビオトープ 原っぱのビオトープ 田んぼのビオトープ いろいろな生き物が住めるビオトープが作れます。</p>
51	土の中の虫たちを見よう	<p>生態系の基盤となる土。栄養のある土を作る生きもの、虫たちを探します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内、近辺の木や草があり、落ち葉のある場所などの土を取り、白い紙の上に広げ、動き出すミミズ、ムカデ、トビムシ、クモ・・・を見つけます。</li> <li>・自然度の高い土を持っていき、虫たちを見てもらいます。学校の土と比較しながら、豊かな生きものの世界を考えます。</li> <li>・生態系ピラミッドを利用し、自然の成り立ち、土の大切さを知ってもらいます。</li> </ul>	 <p>・春、夏、秋にやるのが良いです。 ・できるだけ校庭でやるのが良いです。</p>
52	自然観察	<p>見沼や校庭など、自然観察をします。植物・虫・鳥などの種類や生態について説明します。学校ビオトープについても、観察会をしています。ビオトープを作るお手伝いもできます。在家小・芝富士小のビオトープを作った経験を話せます。</p>	
53	本当の自然とは何か	<p>間違いだらけの「自然保護」として、緑化運動の誤り、巣箱がけの誤り、花いっぱい運動の誤り等をあげ、自然保護をするには、本当の自然を知ることで、生態系(自然)を構成する五要素を説明し、生態系ピラミッドの説明をします。</p>	

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
54	芝川第一調節池の役割と自然の話	<p>芝川の氾濫を止め主に川口市の水害を守るために作られたのが芝川第一調節池です。63haの広さがあり、200万m3の水を貯められます。</p> <p>芝川第一調節池ができるまでの話といかに自然豊かな調節池となれたかの説明をします。</p> <p>野鳥観察：ヒバリ、オオヨシキリ、オオタカ・・・</p> <p>生き物観察：チョウ、バッタ、カナヘビ・・・</p> <p>植物観察：食べれたり、遊べたり・・・</p> <p>生き物のための橋やトンネルはタヌキやイタチのために作られました。</p>	 <p>事業者の方は管理ボランティアに繋がると嬉しいです。</p>
55	見沼の歴史と通船堀の仕組み	<p>見沼たんぼは、見沼三原則をとおして先人の方達の運動のおかげで、この自然が大都市の近くで1200分の1の土地が残されてきました。この自然の意味と見沼代用水・通船堀と木曾呂の富士塚が国指定史跡になっているのです。</p> <p>芝川第一調節池の仕組み（越流堤）。川口市民は、この貯水池のおかげで水害に見舞われない生活に。</p>	 <p>芝川第一調節池 芝川があふれた時のための水をためておく場所。去年の</p> <p>通船堀での仕組みと民話</p>
56	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫標本と採集した昆虫の話</li> <li>生き物の比較</li> <li>河川敷や公園、校庭での自然観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫を中心に生き物(鳥、魚、植物等)の比較をしながら、つながりや違いを理解します。</li> <li>生き物のつながりと進化、種類と種数</li> <li>昆虫のバッタの耳、セミの共鳴器(音を出す部分)、チョウの長い口、羽の付き方、複眼、トンボやセミのオスとメスの違い、種類による違いを間近で見てもらい興味をもってもらえればと思います。</li> </ul> <p>※自然の中での学習、本物(実物)と、ふれ合う事を一番大切にしていきたいと思っています。</p>	 <p>実物(樹木の樹皮、鳥の鳴き声、チョウの羽のリン粉、カブトムシの幼虫等)に触れ、耳を傾け、匂いをかいで、時には味を感じたりして五感を使い学習を進められれば良いと思います。</p>
57	身近な野鳥観察	<p>身近な野鳥を観察し、昆虫、植物との関係を考えてもらい、生態系ピラミッドの関係を説明します。</p>	

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考	
58	もの作り	<p>①どんぐり人形・どんぐり笛・木の動物作り どんぐりや木切れはこちらで用意します。</p> <p>②草木染 校庭の木を使つての草木染。桑やエノキの色はきれいです。</p>		
59	・どんぐり笛作り ・ジュズ玉のネックレス作り	<p>◆どんぐり笛作り◆どんぐりの種類:クヌギ、コナラ、スダジイ... 笛作りには堅いマテバシイを使います。ヤスリで頭を削り、中身を出して口にあてて吹きます。自分で最後まで作り音をうまく出すことは低学年にとって達成感を持つ作業です。</p> <p>◆ネックレス作り◆昔からジュズ玉は道ばたにあり、お手玉やマラカス、ネックレスなど遊びに使われていました。</p>		<p>・ジュズ玉は針と糸を使うので、「小中」学年からが良いとれます。</p> <p>・どんぐりで クヌギのどんぐりコマなどもできます。</p>
60	・自然素材を使つての物作り ・木育 ・自然の大切さ	<p>・自然素材(どんぐり、クルミ、ムクロジ、マツボックリ、葉、花、竹、貝、石等)を使用して、ヤジロベエ、しおり、木切れ、竹、笛、ブローチ、ネックレス等を作る。</p> <p>・「木育」全ての人々が“木とふれあい、木に学び木と生きる”という取り組み。</p> <p>・自然のあらゆる物(植物、鳥、土、雲、海、星等)の関わりを話しながら、私たち人間も自然の一部であり、多くの生命と共存しながら生きている事を分かってもらいたいと思います。</p>		<p>※自然素材を使つての物作り 使用した各素材の説明</p> <p>・どんぐりの話 ・花や葉の話 等</p>
61	自然の素材を使つて、生き物を作ってみよう	<p>自然の素材(木の実や葉っぱ等)を使つて、鳥や、昆虫などの生き物をも表現します。生き物の見方や、特徴の捉え方がわかり、芸術性も加わり、楽しい作品が出来上がります。</p>		
62	ヨモギのホットケーキ	<p>ヨモギはどこにでもある野草ですが、草もち、薬、お灸、入浴剤、ハーブティーなど使い道の多い野草です。</p> <p>草もちでは時間がかかるため、ホットケーキにしてみました。昔から伝わるヨモギの効用と食べる文化を体験してもらいます。また多くの食べられる野草があることを知れば、非常時にも役立ちます。</p>		<p>いろいろな野草の天ぷらやおひたしもできます。</p>

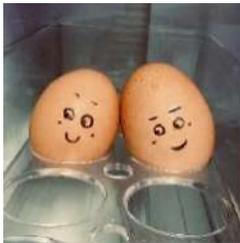
### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
63	見沼田んぼの自然を知ろう 【自然観察】	自然観察を通して見沼田んぼの生きものの現状を知り、生物多様性・食物連鎖などについて考え自然との関わり方を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間については、要相談</li> <li>・内容については要相談</li> </ul>
64	見沼田んぼの自然を知ろう 【自然保護】	自然観察を通して見沼田んぼの生きものの現状を知り、保護・保全を考え自然との関わり方を学びます。 これまでの保護・保全活動を通して見沼田んぼの現状と状況を知り、保護・保全を考え自然との関わり方を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間については、要相談</li> <li>・内容については要相談</li> </ul>
65	見沼田んぼの自然を知ろう 【自然素材を使ったものづくり】	自然素材を使ってのものづくりについては、自然学校エリア(見沼自然の家)又は、出前講座可。 ドングリ・小枝などを使っての工作(ドングリ笛、木笛、ドングリコマなど)、しめ飾りづくり、ミニ門松づくりを通して伝承を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間については、要相談</li> <li>・使用する素材については打合せ</li> <li>・内容については要相談</li> </ul>
66	水の授業	私たちが使える真水の量は、地球のたった1%です。 日本では、水道の水は飲めますが、飲めない国が圧倒的です。私たちが、飲んでいる水は川の水がほとんどです。しかし、川の水は1970年代よりはきれいになったとはいえまだまだ汚い川が多いです。そして、水の浄化をしている植物や微生物を生かせる環境を作ってあげないといけません。(例:水質検査、透視度時計、微生物を顕微鏡で見る、水質をよくする濾過器作りと実験)  <p>体内にプラゴミがたまり餓死した鳥</p>	
67	水質検査から水の汚れや水の浄化について学ぼう	学校近くの川、水路などで採水し、それらの水と学校の水道水を透視度計で調べ、比較します。透視度計で何センチ見えるか、透視度を通じて、さらに水の色、匂いなどもあわせて、水の汚れについて気づき、学びます。 子どもたちが日頃、生活の中で水とどうつき合っているか、洗たく、料理、掃除、歯みがきなど生活排水が水の汚れの原因の一つになっていることを考え、自分たちにできることをとりくみます。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採水については可能なら自分たちで行うほうがよいが、場合によっては事前にスタッフが準備しておくことも考えます。</li> <li>・水の汚れを調べるには、透視度計だけではなくCOD(化学的酸素要求量)のバックテストを使って調べることも可能です。</li> </ul>

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考	
68	綾瀬川の浄化と自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾瀬川浄化の歴史・25年の変遷 (綾瀬川はどのようにしてきれいになったの?)</li> <li>・綾瀬の森での植物調査、自然保護</li> <li>・家庭排水と浄化槽の現在</li> </ul>		
69	綾瀬の森の生物と生命	対話型授業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾瀬の森の生物 世界の生物</li> <li>・生命って何?</li> </ul>		
70	綾瀬川、綾瀬の森の生き物	綾瀬川、綾瀬の森の生き物を観察します。		
71	地球環境を壊さない野外活動の技術を活用しよう	①理科で学習する知識を体験に変えよう。 ②自分の行動で環境を今よりも悪くしない行動について。 ③災害時や野外活動時、安全に行動し、生命を保つ技術。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、使っている水はどこから来てどこへ行くのか。</li> <li>・命を守る行動 ・観天望気、火を作り管理する</li> <li>・ごみを出さない工夫 ・自然素材に依る工作</li> </ul> 学校の授業で得る知識を生活の中で体感的に利用出来るようになる事が大切だと思っています。		小学生の臨海学園、中学生の水上林間学園について役立つ準備教育(安全教育も含め)をお手伝いできます。
72	身近な自然と友だちになろう	校内及び学校付近の公園や自然のある場所での昆虫や植物の観察・採集を通し、身近な自然に親しむ。	 	

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
73	猫も杓子もワンヘルス	<p>地球上では人間や動物が環境と互いに関わり合いながら暮らしています。人間・動物・環境の健全性は一つなぎである「ワンヘルス」という考え方を通じて、人と動物との共生や自然を護ることの大切さを学びます。地球温暖化や環境汚染は遠くで暮らす動物にまで影響を及ぼし、生態系を壊してしまいます。地球上に住むみんなの健康を守るために私たちが暮らしの中で取り組めることを考えます。</p>	
74	猫と環境問題	<p>ペットとして飼われることが多い「猫」が私たちの生活環境に及ぼす影響と、その背景、対策について考えます。猫の不適切な増加の背景には、人の高齢化や障害等との関りもあります。また、増えすぎた猫による問題には糞尿などによる環境汚染、鳴き声による騒音、更には生態系への影響にもつながります。人々の暮らしの環境や自然環境と自分の生活との関りについて知り、私たちに何ができるかを考えます。</p>	
75	「たまご」から環境を考える	<p>私たちの食生活に身近な「たまご」を題材にして環境問題を考えます。たまごは食卓にあがるまでに地球環境、経済、気象、採卵鶏の飼育環境などの影響を受けています。環境に配慮した商品を選ぶ人を「グリーンコンシューマー」と呼んでいますが、たまごもそのうちの1つです。消費者一人一人の行動が地球環境や動物福祉を守ることにつながることを知り、持続可能な消費行動とはどのようなものか一緒に考えます。</p>	
76	図鑑ではわからないこと	<p>自然のなかで生きものたちがどのように生活しているかを知るために、野外での生きもの観察が必要です。教科書や図鑑などをもちいた教室内での授業(座学)と野外の観察(実地)の架け橋として、蝶標本の意義についてお話しします。とくに図鑑ではわからないこと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実物の美しさ・大きさ</li> <li>2) 川口市のどこで観察できるか</li> <li>3) 棲み分け</li> <li>4) 擬態</li> <li>5) 学校に蝶の標本があることの意義</li> </ol> <p>などについて蝶の標本をみながらお話しします。</p>	 <p>蝶の標本は講師が持参します。学校にある図鑑、教科書を用意して下さい。</p>

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
77	上谷沼周辺の野鳥観察	<p>上谷沼調節池とその周辺の野鳥について簡単な見分け方を知り、特に鳥と環境とのかかわり方(食べ物・すみかなど)について学びます。</p> 	
78	タヌキ先生のタヌキ講座	<p>里山から街中まで出没するタヌキ。市内にも野生のタヌキが生息しています。カチカチ山やブンブク茶釜などの童話にも登場し、信楽焼の置物でも親しまれてきた身近な野生動物ですが、食べものや住まいなどの生活や、アライグマなど外来種との関係は意外に知られていません。浦和で観察されたタヌキの貴重な映像、グラフや図などデータを通して、タヌキからみた都市近郊での野生動物の生態やその保護の問題を考えます。</p> 	
79	本当の自然とは何だろう？	<p>本当の自然とは何かについて学ぶ第1ステップです。写真カードを見ながら、野生種と園芸種の違いについて説明します。そして生き物どうしのつながりや自然の現状についてお話します。小学校低学年から理解できる言葉で説明していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグネット使用のできるホワイトボード2つあるとよい</li> <li>・ハサミ</li> </ul>
80	「鰻のかば焼き」発祥の地、上谷沼調節池の役割と自然の見方	<p>藤右衛門川の洪水調節のために作られた上谷沼調節池(川口市芝)の治水と自然環境、歴史についてお話します。「昔々縄文時代は、ここまで東京湾でした。うなぎのかば焼き発祥の地は藤右衛門川、上谷沼……」。</p> <p>実は、上谷沼調節池は未完成です。将来どんな調節池にしたら生き物と共存できるでしょうか？ うなぎも復活する！？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC、プロジェクター</li> <li>・人数と時間により現場見学も可</li> </ul>

### Ⅲ 自然環境関係

講座 No	講座名	講座概要	備考
81	ワークショップ 「みんなのトンボ池」	プロジェクトワイルドの手法で、自然と共存する地域社会を考えるワークショップです。「みんなのトンボ池」を題材にして、例えば、人が生活したり、経済活動を行っているその地域で、守りたい動植物がある時、どこに工場や道路、学校を作り、人がどのように土地を使えば自然が守れるのだろうかを考えます。そして飲食店は？学校は？自治会は？それぞれ何をしたらよいか？ できることはたくさんあるですよ！	・グループごとに模造紙、ハサミ、カラーマジックなどが必要
82	今日からできる！ 自然保護へのとりくみ	自然保護は、地球に対する道德。この地上に住んでいるのは人間ばかりではない。たとえば、草原に舗装道路を作ったとき、喜ぶのは誰？悲しむのは誰？立場を変えて考えると、知らず知らずに人間が生き物にどれだけ負荷を与えているか、気づくでしょう。ならば、どのような地域社会にしたらよいのか……、家庭で、学校で、会社の庭で、明日からできる取り組みを考えます。	・教室内を中心 ・野外も組み合わせ可能

# 環境講座 講師派遣申込書

令和 年 月 日

次のとおり、環境講座の講師派遣を申し込みます。

開催希望 日時	第1希望	月	日	( )	:	~	:	( )	分間)
	第2希望	月	日	( )	:	~	:	( )	分間)
	第3希望	月	日	( )	:	~	:	( )	分間)
会場									
参加対象者	※学年・クラス、会合名等をご記入ください								
参加予定人数	名								
講座テーマ	講座名	No.							
	講座への 希望事項								
教科と単元 ※学校の場合のみ	教科名	単元名							
		<input type="checkbox"/> 講師と直接調整済み							
希望講師名	依頼者(学校・団体)名								
学校・団体名									
代表者名									
住所	〒								
	担当者名								
連絡先	電話番号				FAX				
	E-mail								

今回の申し込みにあたって、参考となる資料等あれば送付してください。

川口市地球温暖化防止活動推進センター あて

FAX 048-222-0591

e-mail: center@ecolife-kawaguchi.org

# 環境講座 実施結果報告書

令和 年 月 日

次のとおり、環境講座の実施結果を報告します。

実施日時	令和 年 月 日 ( ) : ~ :			
会場				
実施対象者	※学年・クラス、会合名等をご記入ください			
参加人数	名			
講座テーマ	講座名	No.		
	具体的な講座内容			
教科と単元 <small>※学校の場合のみ</small>	教科名		単元名	
派遣講師名				
感想・意見 今後の取組計画				
<b>依頼者(学校・団体)名</b>				
学校・団体名				
連絡先	担当者名		電話番号	

※写真はメールで送付してください。

川口市地球温暖化防止活動推進センター あて

FAX 048-222-0591

e-mail: center@ecolife-kawaguchi.org



お申し込み・お問い合わせ

川口市地球温暖化防止活動推進センター

(指定団体:NPO 法人川口市民環境会議)

電話:048-222-0590 FAX:048-222-0591

メール:center@ecolife-kawaguchi.org

センターのホームページ上で、講座実施例を紹介しています。

